

目 次

「臨床薬理」 第 38 巻 第 4 号 2007 年 7 月

第 28 回日本臨床薬理学会年会および関連集会の予告 (4)113E

特集/臨床試験のエンドポイントの新しい方向性：合併症予防から原疾患の発症予防へ

巻頭言	越前 宏俊ほか	177
1. 糖尿病の発症予防	松田 昌文	179
2. <i>H. pylori</i> 除菌による胃癌の予防	加藤 元嗣ほか	183
3. 認知症の予防と進行の抑制	宮嶋 裕明	189
4. 循環器分野での原疾患の発症予防 高血圧症発症予防について考える	橋本 重正ほか	197
5. レニン-アンジオテンシン系阻害剤による腫瘍抑制	杉本 光繁ほか	205
6. COX-2 阻害薬(Coxibs)による癌化学予防	辻 晋吾	213

ORIGINAL

日本人健康若年男子の安静時心電図における RR 間隔と QT 間隔の関係 —相関係数を用いた Bazett と Fridericia の補正法の比較—	後藤 寛司ほか	219
--	---------	-----

フォーラム

ファーマコゲノミクスの薬物治療への応用に関する市民の意識調査	藤尾 慈ほか	225
--------------------------------------	--------	-----

TOPICS

日本人と香港中国人の類似性	齋藤 宏暢	231
腎機能検査法に関する新しい話題 —イヌリンクリアランスと GFR 推算式—	菱田 明	233
米国の臨床試験参加者保護事情	中野 真汎	237

第 13 回臨床薬理学講習会

「臨床研究/臨床試験における被験者保護」

1. 生命倫理と研究倫理の歴史	齋藤有紀子	241
2. ヒト臨床試験における科学性と倫理性	熊谷 雄治	245
3. 試験審査委員会/倫理委員会の役割	内田 英二	249
4. 臨床試験のインフォームドコンセントに必要なこと	中野 重行	253
5. 臨床研究における個人情報保護	辻 純一郎	257
6. 臨床研究/試験における被験者への補償と賠償	畔柳 達雄	265

受賞報告 (2002 年度/2003 年度 臨床薬理研究振興財団賞学術奨励賞研究成果報告)

エビデンスに基づいた医薬品リスト選定の方法論	渡邊 裕司	273
薬効ゲノム情報に基づく薬物治療法の確立を目指した臨床薬理学的研究	福田 剛史	279

REPORT

2005 年度日本臨床薬理学会海外研修員報告書—その 2—	千葉 康敬	285
2005 年度日本臨床薬理学会海外研修員報告書—その 3—	齋藤 明子	289

第 27 回日本臨床薬理学会年会記録

目次		87S
シンポジウム 1 わが国の心血管病大規模臨床試験の現状と課題		89S
シンポジウム 5 第 I 相試験の新たな方向性を考える		99S

医薬品情報

医薬品・医療機器等安全性情報 No.236		117E
-----------------------------	--	------

投稿規定		119E
------------	--	------

おしらせ

認定医制度委員会 (更新手続き)		121E
認定薬剤師制度委員会 (更新手続き)		121E
認定 CRC 認定委員会 (第 4 回試験要項) 他		122E